

「60年に感謝！新たなステージへ！」

社団法人奈良県放射線技師会創立60周年記念式典・祝賀会開催報告

会長 高嶋 敏光

平成24年10月27日（土）秋晴れのもと、ホテル日航奈良において本会創立60周年記念式典・祝賀会を開催しました。各界からのご来賓をはじめ、台湾、韓国からのお客様、本会会員等、総勢200名のご出席を賜り成功裡に終えることができました。

式典に先立ち行われた特別講演では、日本診療放射線技師会中澤靖夫会長から、テーマ『診療放射線技師法の改正について』をご講演戴き、現状の診療放射線技師法が抱える種々の問題点と法改正の必要性について、具体的な事例を基に示唆に富む提言を戴きました。

公開記念講演では、一貫して生まれ育った奈良を舞台に映画を撮り続けている河瀬直美監督を迎え『映画製作の想い』というテーマで講演して戴きました。ドキュメンタリータッチで描く河瀬作品は、第60回カンヌ国際映画祭グランプリやロカルノ国際映画祭新鋭監督部門グランプリの受賞等、国内外から高く評価されています。

講演では、代表作である「萌の朱雀」や「殞の森」「祈-Inori」等の美しい映像とともに、家族をモチーフとしながら、人は自然の営みの中で生かされていること、人生の中で一番大切なものは心であることをライフワークとして映画を製作している想いを静かな口調の中にも心熱く語って戴きました。

式典では、奈放技を築いて下さった初代会長、故 林周二先生をはじめとする諸先輩への感謝の思いと、これからの新しいステージへの決意を会長式辞として述べさせて戴き、奈良県知事、高市、大西両衆議院議員、奈良市長、医師会会長、日本診療放射線技師会会長のご来賓6名の方々から心温まるご祝辞を頂戴しました。続いて、知事表彰並びに会の発展にご尽力された方々の表彰を執り行い、また、11年前から友好提携を締結している台南市醫事放射師公會との友好記念品贈答式を行いました。

記念祝賀会では、会長、両副会長3名で還暦を祝した赤い”チャンチャンコ”を着込んだの主催者挨拶を行ったあと、近畿地域理事で京都府放射線技師会 轟会長をはじめ、ご来賓からのご祝辞を頂戴しました。そして、船曳名誉会員による乾杯のご発声で華やかな祝宴に移り、親睦の輪の拡がりとともに一気に賑やかな酒宴へと様変わりしました。

アトラクションは、日本一大きな村の青年達が、魂を込めて叩く太鼓から人との和を繋ぐことを目的として結成された、十津川太鼓「鼓魂」Kodama による慶祝の太鼓の披露が行われ、その名の通り、まさしく魂が揺り動かされるような大迫力の演奏で、会場はこの日の最高潮の盛り上がりには達しました。その後は、台北市醫事放射師公會メンバーや中臺科技大學、韓国高麗大學からの海外メンバーの自己紹介で国際色豊かなものとなり、最後は全員で「栄光への架け橋」を大合唱しました。先輩、後輩が肩を組み、一体感に包まれた雰囲気の中でフィナーレを迎え、高谷副会長の中締め挨拶により、無事、盛会裡の内に目出度くお開きとなりました。

今回、60年という佳節の式典・祝賀会を、水野実行委員長のもとに若手を中心とした実行委員と各理事のご協力の下、何にも勝る行動と経験で確かな次のステージへの架け橋を繋ぐことが出来たと感じています。関わって戴いた全ての一人ひとりに心から感謝を申し上げます。